

文化情報

会報 Vol.400
令和6年9月1日発行
SINCE 1961
一般財団法人
北海道文化財保護協会

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7ビル9階 電話・FAX;011-271-4220

Website ; <https://hokkaido-bunkazai.jp>

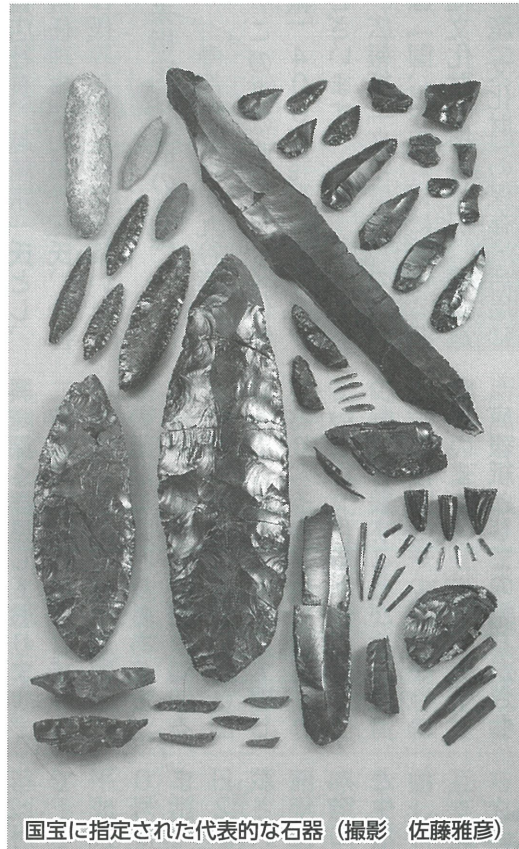
E-mail ; bunho@abelia.ocn.ne.jp



国際黒曜石会議 (市民講演会)



黒曜石ジオツアー



国宝に指定された代表的な石器 (撮影 佐藤雅彦)

国宝 白滝遺跡群出土品

指定一周年を迎えて

国宝指定から令和6年6月27日で1周年を迎えました。振り返ると旧石器時代の資料では初めての指定となったことから日本最古の国宝として注目を集めた1年でした。

指定直後の令和5年7月には、黒曜石を研究対象とする考古学者や地球科学者の国際学会である国際黒曜石会議がアジア地域では初めて遠軽町で開催されました。国内外より119名が参加し、エクスカーションでは黒曜石産地「赤石山」や遠軽町埋蔵文化財センターの巡検等、黒曜石資源を国際的に情報発信する機会となりました。さらに、地域住民を対象としたプログラムとして石器づくりワークショップや市民講演会を開催し、黒曜石研究の意義や重要性とともに白滝遺跡群出土品の学術的価値を共有することができました。

また白滝ジオパーク推進協議会による黒曜石産地を見学する「黒曜石ジオツアー」を7、10月に7回開催し96名が参加しました。地元ガイドの解説で普段では行くことができない八号沢露頭を見学し、黒曜石が誕生した火山活動に思いを馳せながら、同じく火山の恵みである地産の食材を活用したランチがセットとなったツアーは好評です。

国宝指定による影響は、遠軽町埋蔵文化財センターの入館者にも現れており、令和5年度では開館以降初めて一人を超えました。一般来館者に加えて小中学校や高齢者大学など団体利用も増加傾向となっています。国宝をモチーフとしたキャラクターグッズや黒曜石にちなんだレトルトカレーやコロッケなど「黒いグルメ」も登場するなど認知度も高まりつつあります。今後も白滝ジオパークや関係団との活動を通じて、博物館や教育活動のみならず観光や地域振興の資源として白滝遺跡群出土品を活用したいと考えております。

(遠軽町埋蔵文化財センター館長 松村愉文)